



since 1997
HALLELUJAH BAPTIST CHURCH

いのちのパン

秋号

AUTUMN

ここに本当のやすらぎといのちの糧を

2016 Vol.16

神はわれらの避け所、また力。
苦しむとき、そこにある助け。

詩篇46篇1節



病者の祈り

大きなことを成しとげるために
力を与えてほしいと神に求めたのに
謙遜を学ぶようにと弱さを授かった
より偉大なことができるようにと健康を
求めたのに よりよきことができるようにと
病弱を与えられた

幸せになろうとして富みを求めたのに
賢明であるようにと貧困を授かった

世の中の人々の賞賛を得ようとして成功
を求めたのに

得意にならないようにと失敗を授かった

人生を享樂しようとあらゆるものを求めたのに
あらゆることを喜べるようにといのちを授かった

求めたものは一つとして与えられなかったが願ひ
はすべて聞き届けられた

神の意に添わぬ者であるにもかかわらず

心の中で言い表せないものはすべて叶えられた

私はあらゆる人の中でもっとも豊かに祝福され
ていたのだ

(ニューヨーク州立大学の病院の壁にある詩)

平和のおとずれ

副牧師 谷井 涙賀

さあ、あなたは神と和らぎ、平和を得よ。そうすればあなたに幸いが来よう。

旧約聖書ヨブ記22章21節



これは太平洋戦争最中の実話です。アメリカの捕虜になった日本兵に、親切の限りを尽くしてくれるひとりのアメリカのお嬢さんがいました。彼女は、負傷兵の看護にはじまり、様々な世話を快く親身になってしました。次第にその姿に心を打たれた兵士達は、「お嬢さん、どうしてそんなに親切にしてくださるのですか」と尋ねますと、しばらくしてから重い口を開き、「私の両親が日本軍隊によって殺されましたから・・・」と答えたそうです。フィリピンに宣教師としていた彼女の両親は、難を逃れて山中にいた所を日本兵に見つかり、スパイと勘違いされて殺されました。両親は、斬られる前、30分だけ時間を下さいと願い、聖書を開いて祈ったそうです。アメリカでその知らせを聞き、悲しみに沈んだ彼女は、静けさの中で、両親が最後の30分に何を考え祈ったのかと思いました。すると、キリストが十字架上で祈られた「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」とのことばが脳裏に浮かび、彼女の気持ちは憎悪から敵をも愛するキリストの愛によって動かされたのです。

この実話は、真の平和とは、人の心にはじまる問題であることを示唆しています。心の憎しみ、争い怒りは、何も国家間の戦争、民族紛争という大きな枠にとどまりません。極身近な友人関係や家庭にも影響を及ぼし、夫婦関係、親子関係、さらには職場での人間関係にも亀裂が生じ、平和を破壊します。それは心を蝕む悲惨な状況です。

平和は、まず神と和らぐことからはじまります。冒頭のことばに、「神と和らぎ、平和を得よ。」とあります。つまり聖書によると、人が神との正しい関係に戻ることににより平和が得られるのです。すべての人は生まれながら、心が創造主である神から離れ、神との関係が断絶した状態に置かれています。平和が欠如しているのです。ですから、自己中心的な生き方を改め、神と和らぐことがまことの平和への第一歩なのです。

平和は、キリストを心に迎えることにより与えられます。「キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ちこわし、ご自分の肉において、敵意を破棄された方です。」(聖書)神であるキリストが、人類の罪の身代わりに十字架にかけられて死なれました。キリストの十字架の死と復活により、人が神と和らぐ平和の道が開かれたのです。だれでもキリストを信じるなら、すべての罪、過ちが赦されて、新しく生まれ変わり、神と和らぎ、神との正しい関係に入れていただけるのです。

平和は、平和をいただいた者たちによりつくりだされます。神との平和をいただいた人が、まことの平和をつくりだす者となり、周囲に平和の輪が広がっていくのです。憎しみは愛に、争いは和合に変えられます。魂の平和、安らぎを得た者がキリストの模範に生きるのは、キリストがいのちがけで平和を実現されたからです。あなたもキリストを心にお迎えし、愛と赦し、慰めと希望の人生を体験してください。

わたしはいのちのパンである。(キリスト)

家族が笑顔になる幸せレシピ♪

かぼちゃサラダ

旬のかぼちゃの味をじっくり
お楽しみ下さい。かぼちゃと
クリームチーズの相性がバッチリですよ！

〈材料〉4人分

かぼちゃ 1/4 個、クリームチーズ 40g、
トッピング(くるみ 30g、砂糖 10g、水 10g、バジル)

〈作り方〉

- ① かぼちゃの皮をむき、一口大に切る。
- ② ①にラップをしてレンジ強で 4 分間かける。
- ③ フォーク等で②を粗くつぶし、器に盛り付ける。
- ④ クリームチーズを 1cm 角位の大きさに切り、③
にちらして出来上がり。

♥レーズンやくるみや粒こしょうなど、お好みでトッピング
をのせるとさらに美味しい。今回は「カラメルくるみ」…フラ
イバンに砂糖と水を入れて火にかけ、カラメル状態になっ
たら、刻んだくるみを入れてからめました！



皮膚科の女医さんによる
育児セミナー

講師からひとこと…



アトピー性皮膚炎の子供たちの治療に行きづまり、
愛で耕す育児法を学びました。そこで、今までの自
分の育児が間違っていたと気づき、若いお母さん
達と育児勉強会をするようになりました。今度愛す
るハレルヤ教会へ出張致します。

入場無料

日 時 10 月 27 日(木)

開演 午前 10～12 時(開場 9:30)

対 象 子育て中のお母さん方(先着 20 組)

会 場 ハレルヤバプテスト教会

講 師 高坂和子(高坂皮膚科医院院長)

高校 3 年の時、イエス・キリストを信じ、救われる
調布バプテスト・テンプル会員。毎週家族で教会に。

1975 年 東京慈恵会医科大学卒業

1976 年 結婚 一男二女が与えられる

1995 年 調布市に高坂皮膚科クリニック開設

趣味は旅行と節約(バーゲン)と仕事

キリストを信じた人の生涯⑦一淵田美津雄とジェイコブ・デシェーザー

赦された者に満たされる神の平安と愛

「父よ。彼らをお赦し下さい。

彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」(キリスト)

淵田は真珠湾爆撃隊長、デシェーザーは日本本土爆撃隊であった。彼らは互いに敵国に憎しみを抱き戦った。しかし、二人とも上記のキリストのことばに霊的目が開かれ、キリストを信じ救われた。二人の証はキリストの救いが何であるかを良く現している。デシェーザーは日本軍の捕虜となり虐待を受け、さらに憎しみが強くなり苦悶した。ある時、彼はかつて聞いていた憎しみを愛に変えるキリストの教えを思い起こし、聖書を調べ上記のことばに出会い、キリストを自分の救い主と信じ受け入れる。すると、憎しみが消え、キリストの愛が心を支配するようになった。その時から、日本人を赦し、日本人の救いのために祈る者へと変えられた。

淵田は戦後、「英雄」から「日本を廃墟と化すきっかけを作った人」と白い眼で見られ、苦悶苦悩していた。ある時、渋谷駅でデシェーザーの配る「私は日本人の捕虜でした」と題するパンフレットを手にし、聖書を買って求めむさぼり読むと、上記のキリストのことばを見つけた。彼はそこで大粒の涙を流しその場で、キリストを自分の救い主と信じ受け入れた。憎しみから愛に変えられた二人は、キリストの赦しと救いを伝える者となった。



秋の特別伝道集会

豊かな人生を歩もう

本当に満ち足りた「豊かな人生」に必要な条件とは何でしょうか？

11月12日(土) 19:00~20:30 青年集会

11月13日(日) 11:00~12:15 特別集会(一般向け)

講師 永田ヨハネ(恵みの福音キリスト教会牧師)

1972年生、岐阜県養老町出身。牧師の家庭で育ち、10代でキリストに対する信仰を持つ。米国での学びを終え、2004年から牧師である父のもとで教会の働きをはじめ。家族は妻と子供4人(2男2女)。ゆり夫人は谷井悟牧師の長女。落ち着いた人柄と分かりやすく聖書を語るのに定評がある。
趣味は読書とウォーキング。



ハレルヤバプテスト教会のご案内

—キリストにある愛・喜び・希望にあふれる教会—



「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。」(キリスト)

ハレルヤバプテスト教会の願いは、キリストの福音を近隣の各ご家庭にお届けし、キリストが与えてくださる幸いな人生を皆さまと共に歩むことです。心からあなたを歓迎致します。

✦ 定例集会のご案内

◆ 日曜日

日曜学校 10:00—10:45

主日礼拝 11:00—12:15

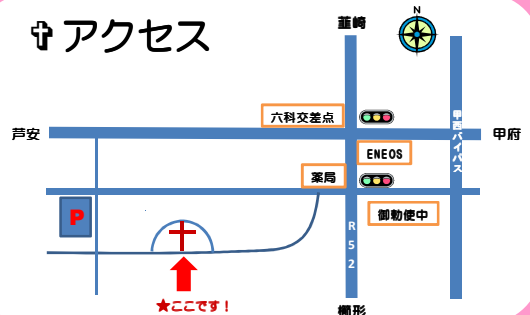
◆ 水曜日

祈り会 20:00—21:00

◆ 毎月第2土曜日

☆ハーベストキッズクラブ(幼児～小学生) 10:00am

✦ アクセス



絵本の会「ちいさなたね」

～小さなところにことばのたねを～

・絵本の読み聞かせ・指遊び・季節の歌・手作りおやつ

毎月第1土曜日 10:00～ 対象:未就学児

※いのちのパンを読んで聖書に興味を持たれた方はご連絡下さい。新約聖書を差し上げます。

発行 ハレルヤバプテスト教会 牧師 谷井 悟 副牧師 谷井 涙賀

〒400-0214 南アルプス市百々1771-26 Tel&Fax 055-285-3967

URL <http://www.hbcalps.com/> E-mail office@hbcalps.com

